

展示責任者 DDBJ

展示責任者所属

国立遺伝学研究所生命情報DDBJ研究センター

生命科学のめざましい発展の基盤として、DNA塩基配列から得られる知識は欠かすことのできないものとなっています。現在では、DNAの塩基配列情報はインターネットを通じて世界中の研究者が無償で入手できるシステムが確立されています。そのシステムの担い手の1つがDDBJ(図1)です。DDBJは、欧州のEBI/EMBLおよび米国のNCBI/GenBankとの密接な連携のもと、『DDBJ/EMBL/GenBank国際塩基配列データベース』を構築しています(図2)。3つのDNAデータベースによる国際協調の結果、日本の研究者は自分が明らかにしたDNA塩基配列情報を、DDBJを通じて国際塩基配列データベ

ースに登録することが出来ます。「ゲノムひろば」で紹介される数多くのゲノム研究で明らかにされた大量かつ有益なDNAの塩基配列情報も、そのほとんどがDDBJを通して登録され、全世界に公開されました。本ポスターでは、ゲノムの塩基配列情報がどのようなプロセスを経てデータベースに組み込まれ研究者に提供されるか、これまでどのようなゲノムDNAがDDBJを通して全世界に公開されたか、などについて紹介します。

(図2) 様々な生物種のゲノム配列は国際塩基配列データベースを通して全世界に公開されます。
(画像出典: 国立遺伝学研究所 遺伝学電子博物館 <http://www.nig.ac.jp/museum/index.html>,
同角谷研究室 <http://www.nig.ac.jp/labs/AgrGen/epigenetics.html>,
水田の生き物 イネの生活 http://www2.saganet.ne.jp/mono_k/ikimono/moine06.html,
国立科学博物館 微小藻の世界 http://www.kahaku.go.jp/special/past/bisyoso/ipix/mo/3/3_5.html)



(図1) DDBJのホームページ
(<http://www.ddbj.nig.ac.jp/Welcomes-j.html>)

